



## 令和4年度学校評価（保護者評価）の報告

本年度の振り返りをし、次年度につなげる時期となってまいりました。今年度からフォームに入力する方法で行いましたが、保護者の皆様から貴重なご意見等、数多く頂きました。以下に、集計結果と主なご意見を掲載します。

よりよい学校生活のため、いただいたご意見を大切にして、職員一丸となり、保護者の皆様、地域の皆様と連携を図りながら、改善に取り組んでいきます。  
(回収率：85% 225人/264人)

No.	設 問	評価平均(4段階) (昨年度比)
1	コロナ感染防止、いじめ未然防止対策、自然災害対応、不審者対応等について、生徒一人一人の命を守りきる安心・安全な学校づくりに努めている。	3.27 (+0.04)
2	「生徒の良さを引き出し伸ばす」ことを学校職員が共通認識し、一人一人の自己肯定感を高める指導を全校体制で取り組んでいる。	3.10 (-0.09)
3	効果的なICT活用等により、学びを止めることなく、確かな学力の定着と学習意欲を高めている。	3.08 (-0.02)
4	授業に生徒間の交流活動を位置付けた対話的な学びにより、自らの学習を振り返り、課題を自力解決しようとする生徒が育っている。	3.02 (-0.04)
5	生徒が互いに思いやりのある言動をすることができる指導を積み重ねるなど、いじめの未然防止に積極的に努めるとともに、いじめを発見した場合は迅速に組織で対応し、関係生徒及び保護者の不安や悩みが解消されている。	3.01 (-0.02)
6	自ら考え、判断し、進んで行動することができる生徒を育成している。また、自分事として考えることを通して、仲間に対する思いやりの心を持ち、仲間と共に学級、学年、全校を高めていこうと努力する生徒を育成している。	3.22 (+0.07)
7	生徒が食事や睡眠への意識を高め、規則正しい生活習慣を身に付けるとともに、自らの健康を大切に生活を送ることができている。	2.97 (+0.08)
8	保護者の思いや地域の方からの意見に耳を傾け、協力体制のもとで教育活動を展開している。また、地域に貢献し、地域の一員として活躍する生徒を育成している。	3.13 (+0.19)

### 【主なご意見と今後の学校の取組の方向】

#### 【危機管理に関わって】

- ・不審者対応について先生方が生徒への注意喚起と見守りをしてくださりありがたかった。
- ・悩みがあったら先生が生徒の気持ちになって真剣に相談にのって気遣って下さりありがたかった。
- ・様々な取組にとっても感謝しているが、子ども達が心から笑顔で生活できるように導いてほしい。
- ・不審者情報については、保護者に知らせてほしい。(下校時の旗当番の回数や期間が少ない気がする)
- ・コロナ対策は国や県の方針に従っていれば対策をしていることになるのが疑問。長時間マスクをつけることで起こる健康被害等も考えていく必要を感じる。
- ・コロナ感染者が出ている時に欠席連絡を入れた時は、感染状況について教えてほしい。
- ・具体的な報告や開示がないので、よく分からない。

→今後も生徒の様子を観察し、心に寄り添いながら学校教育を推進していきたいと考えています。

→今後も、非常時に際して、生徒自らが一人でも適切に判断をして行動できる力をつけていくことが大切であると考えます。そのために、引き続き防災教育も工夫しながら進めていきたいと考えています。

→新型コロナウイルス感染防止については、今後も学校の感染対策を継続して行っていきます。運動時のマスクについては外すように促してはいますが、継続して声をかけていきます。

## 【学習に関わって】

- ・子どものことを第一に考えて先生方が動いて下さることがありがたい。
- ・担任の先生や教科担当の先生によって差がある。学力が高まったと言える教科もある。
- ・自己肯定感高まる言葉もあるが、いけないことへの指導は簡潔にしてほしい。
- ・全体的に取組が浸透していると感じますが、一定の生徒のみ優遇されているように感じることもある。
- ・「グループで話し合ったからできる」と考えて授業を進める場合がある。困っている時には助けてあげてほしい。話すことが苦手な生徒もいるので、配慮してあげてほしい。
- ・若い先生方の声のかけ方が不十分。タイミングや寄り添い方、言葉の選び方等を身に付けてほしい。
- ・授業参観等で実際に見たり触れたりできないので、実態がよく分からない。(授業が見たい)

→本年度、本校では『学びの自己調整力を高める授業デザイン』を研究の柱とし、生徒自ら学び続ける生徒を目指して研究実践を進めてきました。各教科の授業における『学び合い』等により、生徒の充実感も高くなってきています。来年度も大きな方向性は継承しながらも、実践の効果を客観的に検証し、より学力向上に実効性のある取組を精選して行っていきたいと考えています。

## 【ICT活用に関わって】

- ・タブレットの貸与は、保護者としてもありがたい。
- ・タブレットで授業に参加できたことはよかったが、つながりが悪かったりするなど難しさも感じた。
- ・ICTの活用を、もっとやった方がいいと思うが、家でのルール作りや見届けを各家庭で行う必要がある。
- ・タブレットにかじりついているので、睡眠には悪影響を与えている。

→適切な情報機器の利用の仕方、健康を大切にされた家庭での生活規律の確立などは、学校と家庭とが連携して取り組むことではじめて成果が上がることです。今後も保健だより等での啓発を柱として、連携を深めながらより健全な生徒の育成を目指すとともに、課題を改善する活用の仕方を考えていきます。

## 【思いやりのある言動に関わって】

- ・生徒を怒るのでなく、上手に指導してくださっていると感じる。先生方が心を寄せて頂けた。
- ・仲間を大切にしながらも悩みがあれば聞いてもらえるような環境をつくっていただいている。
- ・生徒の人権意識の高さに感心している。(クラスの団結力・学年や性別にとらわれない姿)
- ・係や委員会の話題は家庭でもよく出てくる。自分の仕事に責任をもって取り組んでいることがよい。
- ・お互いの考えを尊重できる人間関係ができつつあると感じるが、疑問の残る生徒もいる。
- ・仲が良くてもなれ合いにならずに指摘すべきことは指摘し合える関係がよい。学校生活を通して人としてとても成長させてもらっていると感じる。(いろいろなことに挑戦しようとする姿)
- ・人間関係づくりで悩んでいる親子もいる。孤立させる仲間づくりをしてしまうことは繰り返されると思うが、その都度自分の言動に対して考える場を作ってほしい。
- ・兄弟でも人を傷つける言動があり、本心ではないと分かっているけどドキッとすることがある。
- ・親でも傷つく言葉を使うので、学校でトラブルに発展しないか心配。

→今後も毎月はじめの教育相談アンケートをはじめとし、よりきめ細かな実態把握に努め、学校体制での早期対応、早期解決を心がけています。今後も生徒の表情やしぐさ、様子を観察し、生徒の心に寄り添い、地域や保護者の皆様からの情報も取り入れながら、さらに取組を強化していきたいと考えています。

## 【地域とのつながりに関わって】

- ・部活動等でも子どもに考えさせながら指導していることは素晴らしいができない生徒への指導が課題。
- ・コロナの中で過ごしている子供にとって、部活動や合唱などでモチベーションを保つことがとても難しいように感じます。少しでもやる気が出るように、この先色々な活動ができることを願っています。
- ・コロナ禍ということもあり、地域のひととのつながりが薄くなっていることが残念。
- ・コロナの影響で子ども達は自分からマスクを外さないとと思うので、マスクを外す指導をしてほしい。
- ・運動不足にならないように、適度な運動を心がけていきたい。また食事の重要性も伝えていきたい。
- ・地域で参加できる行事等はメールで配付したことのお知らせがあるとありがたい。

→コロナの影響を受けて様々な活動が思うようにできない状況が続いていますが、すべきことを考えながら活動の質の向上を図ったり、できる方法を模索したりしながら進めていきます。地域での活動も制限はありますが、学校からも積極的な参加を呼び掛けていきます。今後もいろいろなご意見やご協力をいただくと幸いです。

【この他いただいたご意見についても来年度への改善のための指針とさせていただきます】